～欣浄寺法語メール～２０１６年４月～

「仏さまに背相（後ろ姿）はありません」（善導大師）

井山裕太棋士が囲碁界で初めての七大タイトルを制覇しました。ファンの一人としてうれしいかぎりです。先輩の大棋士趙治勲二十五世本因坊が井山名人をこのように評していました。「優れた画家は同じ富士山を描いても他の人と全然異なる絵になる。井山さんも同じで彼にしか見えていない風景がある。トップ棋士なら技術はそう変わらないが、彼は内側から湧き出る想像力が違う。」

仏さまはどちらを向いているのかとの問いに、ほとんどが「前を向いてみえる」との答えたのに対し善導大師は「私を向いているのだ」と見抜かれたのです。同じお姿を前に善

導大師にしか見えていなかった風景があったのです。ある切り絵作家が仏像の後ろ姿を作ったところ、多くの人がその作品に見入ったそうです。あまり目にすることのない仏像の後ろ姿に感心したのでしょうが、もう少し深く受けとめると仏さまの後ろ姿の先にいる自分自身に出会ったのではないでしょうか。

　これから仏さまの前でお参りするとき、善導大師や井山名人にはおよばなくとも、想像力をはたらかせて仏像の後ろ側からの風景を見てみましょう。そこには、間違いなく仏さまに手を合わせている私がいます。